科　目　名	科目区分	開講年次	必・選	開講期	単位数	担当教員名	担当形態
心理実習	**専門（人間理解）**	**3・4**	**選択**	**通年**	**5**	**鳥越　淳一 佐久間　祐子**	**オムニバス**

英語科目名	Practical Training in Clinical Psychology	レベル	上級	実務経験のある教員による授業科目

＜授業概要＞

この授業では、心理臨床の現場における心理臨床活動の実際を学ぶことを目的とする。事前実習として学内で実習の準備を行った後、実際の心理臨床援助施設や機関においてクライエントやスタッフと適切にコミュニケーションをとりつつ、日常の業務を実際に体験する。加えて、実地実習では、臨床の現場で必要となる、クライエントやそこで働くスタッフに接する際の心構えや社会的マナー等も身につける。これら一連の実習を経て、受講生は、心理的支援を要するものへのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、心理的支援を行なう者としての職業倫理及び法的義務への理解を深める。教員は、長年心理臨床業務に従事しており、臨床家としての立場から、現場の臨場感を重視した指導を行う。

＜到達目標＞

心理臨床の現場において、心理臨床活動における基本事項を理解・修得し、適切な行動をとることができる。

＜ディプロマポリシー＞

- さまざまな専門領域を横断する知識と多角的視点を有する教養豊かな人材
- 高い対人関係能力・コミュニケーション能力を有する人材
- 常に社会に関心をもち、高い職業意識と自己管理能力を有する人材
- 自由な発想で問題発見・問題解決能力を有し、時代の変化に適応できる人材

＜学生へのフィードバック＞

オンデマンドで質問を受け付け、随時対応していく。

＜授業／AL の進め方＞

本授業は、公認心理師の実務を意識した科目であり、前期に理論的学修及び心理臨床家としての心構えを学んだあとに、夏季に心理臨床の現場にて実習を行う。さらに後期では、実習体験を基にスーパーヴィジョンを行い、体験を言語化し実践的知識へと変換する。

＜利用する ICT 機器＞

特に使用しない。

＜成績評価＞

評価方法	割合	評価基準
実習	60%	実習における適切な態度や振舞いなどを評価する。
発表	20%	実習を通して学んだことを（自己を振り返り、現場での様子を）丁寧に表現できるかを評価する
最終レポート	20%	実習、発表、スーパーヴィジョンを踏まえて、体験が統合的表現されているかどうかを評価する。
その他	成績評価は、原則 3 分の 2 以上の出席があったものに対して行う。	

＜教科書＞

必要に応じて、資料を配布する。また、輪読を行う場合は、授業内で指示する。

＜参考書＞

メンタルヘルス原論 熊倉伸宏著 新興医学出版社

＜受講学生へ＞

・本授業は公認心理師対応のカリキュラムです。国家資格公認心理師の試験や実務を意識した授業になっています。
・心理実習 A 及び心理実習 B の両方において B 以上の評価を得ることが本授業の履修条件となります。
・対象機関の実習参加に際しては、適性などを考慮することがあります。
・実習費として、授業の最初に￥15,000 が必要です。

【授 業 計 画】

第 1 回	授業内容	オリエンテーション: 実習の意義と目的 【担当:佐久間】
第 2 回	授業内容	心理臨床実習総論(1): 教育現場における心理的支援 【担当:鳥越】
第 3 回	授業内容	心理臨床実習総論(2): 司法・犯罪現場における心理的支援 【担当:鳥越】
第 4 回	授業内容	心理臨床実習総論(3): 産業・労働現場における心理的支援 【担当:鳥越】
第 5 回	授業内容	心理臨床実習総論(4): 保健医療現場における心理的支援 【担当:佐久間】
第 6 回	授業内容	心理臨床実習総論(5): 福祉現場における心理的支援 【担当:佐久間】
第 7 回	授業内容	心理臨床の実際(1): 現場での動き方(1) 【担当:佐久間】
第 8 回	授業内容	心理臨床の実際(2): 現場での動き方(2) 【担当:佐久間】
第 9 回	授業内容	心理臨床の実際(3): 現場での動き方(3) 【担当:佐久間】
第 10 回	授業内容	実習機関先の理解及びマナー指導 【担当:佐久間】
第 11 回	授業内容	対象機関での実習(1):
第 12 回	授業内容	対象機関での実習(2)
第 13 回	授業内容	対象機関での実習(3)
第 14 回	授業内容	対象機関での実習(4): 中間指導、現実的問題への対応など 【担当:佐久間】
第 15 回	授業内容	対象機関での実習(5)
第 16 回	授業内容	対象機関での実習(6)
第 17 回	授業内容	対象機関での実習(7)
第 18 回	授業内容	対象機関での実習(8):中間指導、現実的問題への対応など 【担当:鳥越】
第 19 回	授業内容	対象機関での実習(9)
第 20 回	授業内容	対象機関での実習(10)
第 21 回	授業内容	対象機関での実習(11)
第 22 回	授業内容	対象機関での実習(12)
第 23 回	授業内容	対象機関での実習(13)
第 24 回	授業内容	対象機関での実習(14)
第 25 回	授業内容	対象機関での実習(15)
第 26 回	授業内容	実習報告(1): 受講者(この回の担当者)の実習報告とグループスーパビジョン 【担当:佐久間】
第 27 回	授業内容	実習報告(2): 受講者(この回の担当者)の実習報告とグループスーパビジョン 【担当:鳥越】
第 28 回	授業内容	実習報告(3): 受講者(この回の担当者)の実習報告とグループスーパビジョン 【担当:佐久間】
第 29 回	授業内容	振り返りとレポート作成指導 【担当:鳥越】
第 30 回	授業内容	総合考察【担当:佐久間】

事前事後学修	前期 事前:資料の読み込みとまとめ (2 時間)・事後:心構えをまとめる (2 時間) 実習期間 事前:実習の準備 (1 時間)・事後:実習レポート (3 時間) 後期 事前:発表の準備 (2 時間)・事後:レポートの作成 (2 時間)